

主な計算書の記入例

店舗ごとの協力金支給申請額計算書記入例
(売上高方式・岐阜県独自の要請の例)

【売上高方式】

1 事業者名又は個人事業主名 **株式会社〇〇〇** 店舗名 **居酒屋 藪田**

① 事業者名・店舗名

事業者名（申請者）・店舗名を記入して下さい。

岐阜県新型コロナウイルス拡大防止協力金（第6弾）
店舗ごとの協力金支給申請額計算書

①

以下のフロー図の質問を基に、該当する内容を記入して下さい。例えば、「上記内容で申請します」にチェックを入れてください。

【売上高方式／中小企業用】

【順序1】中小企業（小規模事業者）

※中小企業は、飲食業については資本金が1,000万円以下、従業員数が100人以下の会社及び個人。ただし、カラオケなど従業員数が100人以上の会社及び個人は「1.08」を適用してください。

はい

【順序2】令和元年又は令和2年要請月の飲食業売上高

※経費支出を含む経理帳簿などに記載されている売上高を記入して下さい。令和元年9月以前は「1.08」、小数点以下は四捨五入して記入して下さい。

令和元年又は令和2年6月の飲食業売上高 ① 2,100,000 円 (税抜)	6月(30日) + 7月(31日) = 61日	令和元年又は令和2年6~7月の飲食業売上高 ③ 5,100,000 円 (税抜)	令和元年又は令和2年6~7月の1日あたり売上高 ④ 83,607 円 (税抜)
+	=	÷	=
令和元年又は令和2年7月の飲食業売上高 ② 3,000,000 円 (税抜)			

② 令和元年又は令和2年6~7月（6市[※]）の飲食業売上高

岐阜県独自の要請があったのが6/21~7/4なので、6月及び7月で比較します。該当月の飲食業の売上高（税抜）を売上帳簿等経理帳簿などから該当月ごとに参照してそれぞれの欄に記入して下さい。

※6市（6/21~7/4）：6~7月 等

③ 該当月の1日あたり飲食業売上高

②で得られた合計数を要請月数で割って1日あたり売上高（税抜）を算出してください。

④ 時短等協力日数

1日あたり売上高（税抜）が83,333円を超えない方は協力日数を記入して支給申請額を算出してください。□にチェックを入れて終了です。

R1.R2の1日あたり売上高が83,333円（税抜）以下の方は、④の欄まで書けば終了です。

支給単価は1日あたり25,000円です。
下記□を記入して支給額を確定してください。

協力日数	当該店舗の支給申請額
25,000円 × □ 日 =	□ 円
【例】6/21~7/4：14日	

上記内容で申請します

⑤ 一日あたりの支給単価

小数点以下は切り上げてください。

【順序3】令和元年又は令和2年の要請月（6月~7月）の1日あたり支給単価を計算します。

令和元年又は令和2年6~7月の1日あたり売上高 ④ 83,607 円	×	0.3	=	令和元年又は令和2年6~7月の1日あたり支給単価 ⑤ 25,083 円
---------------------------------------	---	-----	---	--

千円未満を切り上げ

【順序4】⑤ 1日あたり支給単価 × ⑥ 協力日数を乗じて支給申請額を算出します。

令和元年又は令和2年6~7月の1日あたり支給単価 ⑤ 26,000 円	×	時短等協力日数 ⑥ 14 日	=	当該店舗の支給申請額 ⑦ 364,000 円
--	---	-------------------	---	---------------------------

【最大7万5千円】

⑥ 時短等協力日数

時短等協力日数を記入して支給申請額を算出してください。
□にチェックを入れて終了です。

上記内容で申請します。